

動画でオススメ 「本耶馬溪移住」

大分大生、別府大生が制作

中津市出身者を含む両大学の学生3人ずつ計6人が8月、8日間にとわたって研修や現地取材した。町への移住定住をPRする動画では、町出身で福岡

成果報告会でインタビュー動画を上映する学生＝中津市本耶馬溪町曾木



「先輩」取材、魅力アピール

県からUターンして林業に従事する20代男性を取材。地元で禅海太鼓の継承に打ち込む様子に迫り、林業の魅力語る姿を収録した。定年退職後に理想のスロ―ライフを求めて移住した男性には、地域の人たちとの交流や協力して里山再生に取り組み充実した生活を尋ねた。観立PR動画では、道の駅耶馬トピアでのそば打ち体験やサイクリング、景観、スイーツの魅力を掘り下げた。

8月30日に市本耶馬溪溪所で成果報告会を開催。リーダーで別府大国際経営学部4年の大野神奈さん(21)は「集落の同士の関係が密で、インタビューや撮影にも協力的だった」とインタビューシップに取り組んだ感想を話した。

(田崎啓三)

おおいた地域連携
プラットフォーム

2021年に発足。



県内の産官学が協働し、地域ニーズを踏まえた人材育成や活性化事業に取り組んでいる。

【中津】大分大と別府大の学生が、中津市本耶馬溪町への移住定住や観光をPRする動画を制作した。産官学協働組織「おおいた地域連携プラットフォーム」によるインタビューシップ事業。出来上がった動画は動画投稿サイト「YouTube」で公開する。

秋そば 香り、喉ごし



中津市で
提供開始

【中津】県内有数のそば産地、中津市本耶馬溪町で17日、秋の新そばの提供が解禁された。市内を中心に計7店舗で味わえる。

賞味会が同町内の道の駅・耶馬トピアであり、奥塚正典市長や関係者ら約40人が参加した。

参加者はざるそばやシイ



秋の新そばを味わう参加者＝中津市本耶馬溪町

タケでだしを取ったつけそばなどを堪能。大分大、別府大の学生が制作した「そば打ち体験」のPR動画、市内山国町のイタリアンレストランが考案したそば粉を使った創作料理のお披露目もあった。

耶馬トピアによると、秋のソバは8月中旬から町内を中心に計60軒に作付けし、例年並みの約33トの収穫を見込んでいる。

高橋和美支配人(68)は「夏が暑くて心配だったが、出来が良く豊作になりそう。香りや喉ごしの良い新そばを味わってほしい」と呼びかけている。

(三井祥聖)